

見て、知って、誰かに話したくなるコミュニティ情報紙



FUTABANOVA

ふたばのわ

Vol.136

2025.2.15



新年を彩る伝統行事 ～双葉町ダルマ市～…………… P.2

令和7年 双葉町はたちを祝う会
～再会と未来への誓い～…………… P.3

第35回双葉町総合美術展・
第9回双葉町民作品展覧会…………… P.4

お知らせ / 町内の放射線モニタリング情報…………… P.4

今月の表紙

今月の表紙は、双葉町ダルマ市2日目に初發神社で行われた奉納神楽大会の様子です。新山、三字、渋川の芸能保存会が順に、来場者などの無病息災を祈る舞と演奏を披露。力強くも優雅な舞には多くの人が引き寄せられ、新年を祝う雰囲気になりました。地域に受け継がれる伝統の力強さを改めて実感する場面でした。

発行：双葉町秘書広報課 0240-33-0125
企画・編集：双葉町復興支援員

新年を彩る伝統行事 ～双葉町ダルマ市～



1月11日と12日の2日間、JR双葉駅前を会場に「双葉町ダルマ市」が開催されました。ダルマ市の名物である巨大ダルマ引きや消防団員によるダルマ神輿みこしが行われたほか、双葉ダルマの販売、多彩なブース出店、芸人やキャラクターによるステージなど、幅広い世代が楽しめる内容で来場者を迎えました。2日間の来場者数は約3,400人にのぼり、多くの方でにぎわいを見せました。

本記事では、イベントに訪れた来場者、出店者、それぞれの視点から語られる感想や思いをご紹介します。



今回のダルマ市への出店は、地域の皆さんへのごあいさつの意味を込めて参加しました。

2月に駅前で「open roastery Au」をオープンする予定です。コーヒーのロースターが本業で、秋田から会津を経て3年前に浜通りに移住しました。双葉町はアクセスが良く、物件の立地も魅力的で出店を決めました。

これからは地域の一員として、皆さんと楽しくお店を運営していきたいと思っています。



深澤 諒さん
open roastery Au.

出店者の声

今回で2回目の出店になります。前回に続きチャイやカレーを提供しましたが、今回はインドからの学生たちが特別にスパイスやカレーを持参し、一緒に出店しました。彼らは浜通りに3週間滞在し、現地を学ぶプログラムの一環として参加しています。お祭りに参加しながら「本格的な日本を感じられた」と喜んでくれたのが印象的です。

私自身、チャイが趣味なので、好きなものを提供し、多くの仲間と一緒に双葉町の伝統に携われることを嬉しく思います。

スワスティカ・ハルシュ・ジャジュさん
一般社団法人双葉郡地域観光研究協会



双葉町とは双葉高校時代からの長い付き合いで、ダルマ市が開かれるのを毎年楽しみにしていました。

前年に比べ、出店者や来場者が増え、活気が感じられるのを見て嬉しい気持ちになりました。こうしたイベントが増えることで、町にさらなる活気が生まれ、地域の発展につながることを願っています。



松本 ミツルさん

来場者の声

ダルマ市のようなイベントや行事が増え、徐々に町が復興していくのを実感します。

昔からの顔なじみと再会すると、懐かしさを感じ、こうした行事を開催してくれることに感謝の気持ちが湧いてきます。

子どもたちの、綱引きや神輿担ぎで頑張っている姿を近くで見せてみて、この素晴らしいダルマ市を次の世代にもぜひ引き継いでほしいと思いました。



栗田 要さん

令和7年 双葉町はたちを祝う会

～再会と未来への誓い～

1月11日、双葉町役場で「令和7年双葉町はたちを祝う会」が開催されました。今年は避難先から12人が参加し、二十歳を迎えた喜びを分かち合いました。

式典では記念品贈呈やミニダルマへの目入れが行われ、代表者4人がそれぞれ「二十歳の抱負」を発表。



式典後には、完成前の復興シンボル軸と線橋の上で記念写真を撮影しました。

幼いころに双葉町でともに過ごした仲間との再会に、会場は笑顔と懐かしさに包まれていました。

本記事では、二十歳を迎えた方々へのインタビューを通じて、それぞれが抱く将来への思いをご紹介します。



はたちの皆さんに聞きました 今頑張っていることとこれからの抱負



村山 凌郁さん

小さい頃から続けている野球に全力で取り組んでいます。これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも前向きに生きていきたいと思っています。



岩川 未来さん

これからは、自分の力で親に頼らず、恩返ししながら生きていきたいと思っています。これまでずっと野球に打ち込んできましたが、その夢が終わった今、次は音楽で夢を叶えられるように頑張っています。



齊藤 あづさん

現在、歯科衛生士を目指して専門学校に通っており、来年の国家試験に向けて日々勉強を頑張っています。



菅野 陽菜さん

社会人2年目として、毎日の事務の仕事に取り組んでいます。二十歳を迎えたこれからは、責任を持ちながら、失敗を恐れずさまざまなことに挑戦していきたいと考えています。日々の経験を大切にしながら成長していきたいです。

これまでたくさんの人に助けてもらいながら過ごしてきたので、その方々に恩返しができるように、これからも少しずつ頑張っていきたいと思っています。

第35回双葉町総合美術展 第9回双葉町民作品展覧会

1月10日から12日の3日間、

双葉町産業交流センターで双葉町芸術文化団体連絡協議会の会員による力作82点、友好町である京丹波町からの切り絵作品10点が展示された「第35回双葉町総合美術展」と、町立学校の園児、児童、生徒の作品を含む町民の力作167点が展示された「第9回双葉町民作品展覧会」が開催されました。

本記事では出展者の作品に込めた思いや創作の背景についてご紹介いたします。



澤上 雙石さん(書)

今回は、同じ文字を楷書と草書で書いた作品を出展しました。作品に仕上げるためには、納得がいくまで何十枚も書き直し、全体のバランスを意識しながら、文字の大きさや太さに細心の注意を払って書き上げました。

楷書と草書にはそれぞれ異なる難しさがありますが、その難しさが書の楽しさでもあると感じています。



生まれ故郷である葛尾村の風景を油絵で描きました。この風景が



木幡 千賀子さんの作品(絵画)

とても好き

で、お気に入りの作品なので、今回出展することにしました。

完成には約3年かかりましたが、特に苦労したのは山と雲の表現です。雲は何度も塗り直し、納得のいく仕上がりになるまで手を加えました。



お知らせ

3月11日に追悼復興祈念イベントを実施します。 ～3.11ふくしま復興祈念行事「キャンドルナイト」～

キャンドルナイトを東日本大震災・原子力災害伝承館で開催します。

東日本大震災から15年目を迎える日に、ふくしま復興への思いや夢を記入してもらったキャンドルにあかりを灯します。皆様どうぞお越しください。

◇と き：令和7年3月11日(火) 午後5時～午後7時30分(予定)

◇ところ：東日本大震災・原子力災害伝承館 アーカイブ広場

◇参加費：無料(申込不要)

◇問い合わせ先：福島県相双地方振興局 復興支援・地域連携室

電話 0244-26-1116

※開催日時及び内容等の詳細は上記にお問い合わせください。



町内の放射線モニタリング情報

町内の放射線モニタリング情報は右のQRコードよりご確認ください。
測定値は随時更新中です。

詳細はこちらから
ご覧ください。→

